

■ 実施者：前橋工科大学建築学科 都市・地域計画研究室

参加者：谷口，金古，谷畑，中里，長島，林，佐藤，外岡，藤森，村松，茂原，渡邊，和田
辛島（指導教員1名）

■ 受入集落：二本松市竹ノ内集落

■ 活動スケジュール

- ☆ オンライン打ち合わせ（7月～8月）
- ☆ 集落実態調査アンケート（現地活動前，郵送，地域の方から各世帯に直接配布）
- ☆ 現地での活動 1泊2日（8/31（土），9/1（日））
 - ・ 各住戸への挨拶（アンケート協力のお礼，ヒアリング）
 - ・ サポート事業計画づくり申請に向けたワークショップ
 - ・ 空き家の活用ワークショップ
- ☆ オンライン打ち合わせ
- ☆ サポート事業の申請書作成支援
- ☆ 現地での活動 1泊2日（12/14（土），12/15（日））
 - ・ サポート事業計画づくり申請に向けたワークショップ
 - ・ 空き家の活用ワークショップ（清掃，竹の加工の試行）
 - ・ そば打ち体験（そばを活用した活性化の試行）
- ☆ 集落からのサポート事業申請の支援（1月～2月）

■活動詳細

サポート事業への計画づくりでの申請を目的に，これまでの活動を踏まえ，①集落の状況と意向を踏まえた申請書づくりのためのワークショップ，②空き家の活用に向けた作業を主に実施した。

①では集落の各世帯にアンケートを配布し，各世帯の暮らしぶり，集落住民同士の交流の状況，集落活性化の活動の重要性の確認，住民の趣味・関心事や特技等を尋ねる内容とした。

そのアンケートから得られた情報を踏まえ，活性化の方針や内容，関わってもらえそうな活動の検討を進めた。

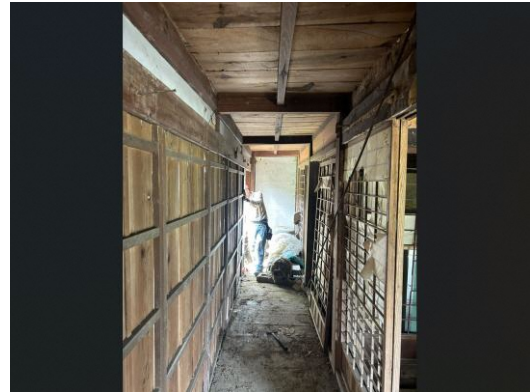
②について，活用候補の空き家の状態確認，清掃を現地活動2回に分けて実施した。集落の景観悪化の問題となっている竹の活用を含めた活動を目指し竹の加工を試験的に実施した。

オンラインミーティングを適宜実施し，密な連携を取り活動を進めた。上述の現地活動では多くの住民の方との交流，活動への参加を得ることができた。

以上の活動成果を踏まえ，集落の方とともにサポート事業（過疎・中山間地域活性化枠，計画づくり）へ申請した。



現地活動1回目（左：計画づくりワークショップ，右：アンケート回収）



現地活動1回目（空き家活用検討ワークショップ）



現地活動1回目（東和サルスベリ園，高台空間の活用検討）



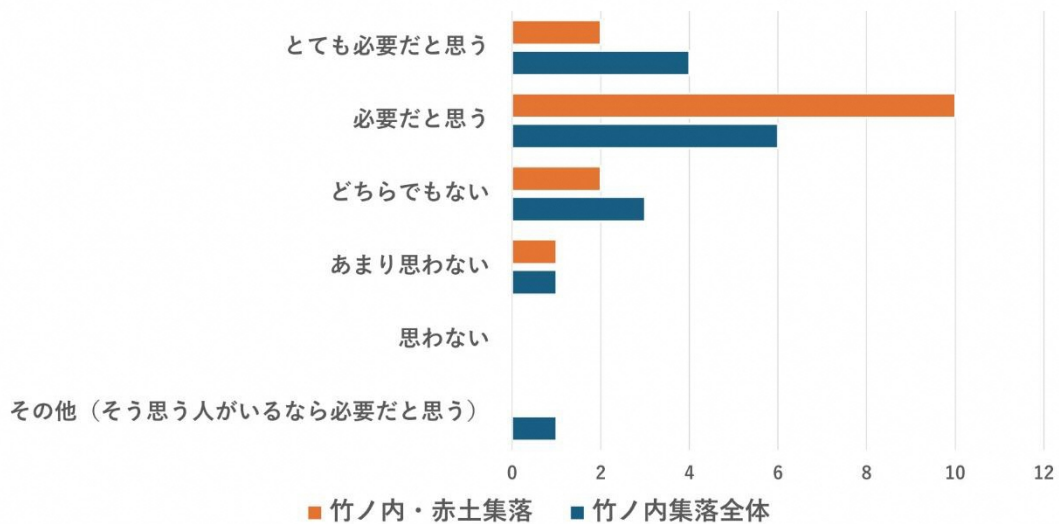
現地活動2回目（左：計画づくりワークショップ，右：そば打ち体験・集落の方々と交流）



現地活動2回目（空き家活用検討ワークショップ）

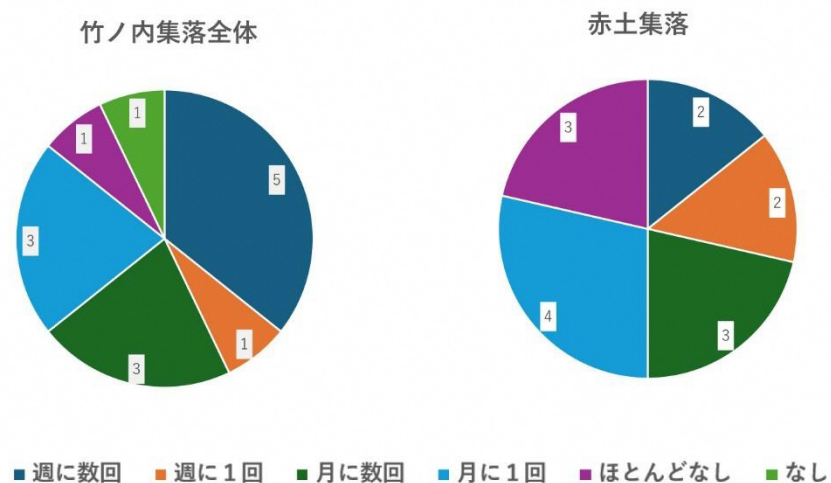
竹ノ内集落の状況把握について

Q1 集落の活性化は必要だと思いますか。



竹ノ内集落の状況把握について

Q2 家族と仕事以外での人付き合いの頻度を教えてください。

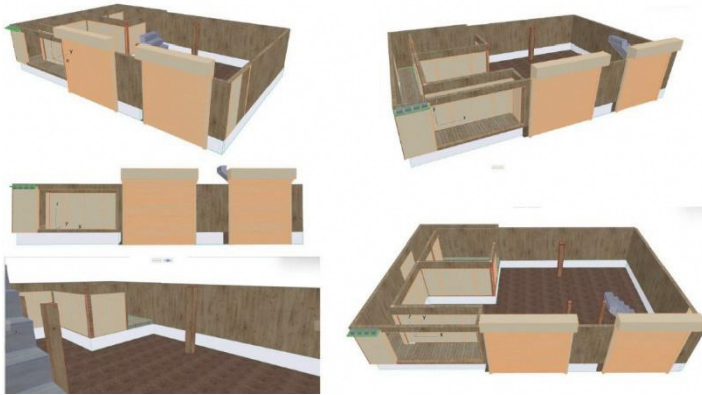


アンケートの結果（一部）

現在行っているハード活動

空き家改修

縁側空間の床の張替え、土間空間のならし、外壁の補修



事例1



空き家の現状



ハード案



▲▶フットパス看板



○フットパス

目的

- ・地域の魅力を楽しみながら歩く
- ・地域の魅力を地域自身が再発見・創造

方法

- ・フットパスのルートの開発・整備
 - ・道案内・観光スポットの案内看板の制作
- 地域のありのままの風景を楽しみながら歩いてもらう

メリット

- ・道を歩くことで健康や観光促進に繋がる
- ・もともとある風景を楽しんでもらうことを目的としているため、交通インフラ等への負担がない

サポート事業申請に向けた計画づくり支援（活動内容案の提案・検討）